

中学生以上の全市民を認知症サポーターに

～大阪府内で初めての取り組み～

河内長野市教育委員会では、中学1年生の生徒を対象に、平成30年度から認知症サポーター養成講座を教育課程に位置づけて実施する。この取り組みは総合的な学習や道徳の時間などを活用して、市内の全中学校（7校）で行うもので、大阪府内では初めて。

同時にこの講座は住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるという支え合いのまちを実現することを目的に、すべての市民に認知症への知識や理解を深めてもらおうと、いきいき高齢・福祉課が展開している取り組みの一環でもある。

本市では、平成19年度から、職員対象の認知症サポーター養成講座を開催しているが、受講率が約34%にとどまっている（H29.7月末）。さらに、市民対象の認知症サポーター養成講座も、受講率が約7%にすぎないという状況であった（H29.3月末）。このため、平成29年度からは、新たに新規採用職員を対象とした研修や消防職員向けの出張講座の取り組みを進めることで、職員の受講率を約90%まで高めている。今回、中学校でサポーター養成講座を実施することで、将来的に中学生以上の全市民が認知症サポーターになることを目指していく。

教育委員会では、子どもたちが、この講座を通じて様々な障がいや病気に対する理解を深め、福祉などの現代的な課題、とりわけ、河内長野市の地域に応じた課題を自己の生き方と関わったものとして捉え、地域社会で行動していくことを期待している。また、子どもたちが思いやりを持って人と接し、家族をはじめ、多くの人々に支えられていることに感謝する人間愛の精神に満ちた人づくりを進めたいとしている。

※参考

○認知症サポーターとは 「認知症サポーター養成講座」を受講し、認知症について正しい知識を持ち、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する人。

○本市高齢化率等

本市の高齢化率は約33%で府内で最高。認知症高齢者の数は約5,000人と推計され、高齢者人口のおよそ15%を占める。



問い合わせ ○中学校でのサポーター講座開催について
教育指導課 ☎0721-53-1111

○サポーター講座及び認知症施策全般について
いきいき高齢・福祉課 ☎0721-53-1111